

## 佐藤容子

| 声楽 |



YOKO SATO

歌手は、身体を通して言葉に命を与える役割を担っています。私は博士研究で、語句の解釈からすぐに歌唱へ向かうのではなく、声を出して詩を読む「朗読」を間にさし挟むことで日本歌曲の表現を深めていく方法を考案しました。日本語の質感や情感の美しさ、奥深さや味わいが、「朗読」を介してどのように歌唱へと結びついていくのかを、ワークショップを通じて一緒に体感してみませんか？

平成 22 年度 博士号取得  
博士論文題目／音声化による発展的な詩の理解  
— 團 伊玖磨の歌曲集《萩原朔太郎に依る四つの詩》を通して

## 鈴村真貴子

| ピアノ |



MAKIKO SUZUMURA

プーランクは、自作品の演奏法に関して明確な意図を持っていると明言していた作曲家です。そこで私はプーランクの望む作品演奏を探るために、彼の自作自演録音を用いて様々な観点から分析を行ないました。今回は、作曲家の意図を尊重しながらも、演奏家の表現としての豊かさやオリジナリティはどのように残るのかということ、プレゼンテーションと演奏を通して皆さんに実感していただけたらと思います。

平成 22 年度 博士号取得  
博士論文題目／フランス・プーランク ピアノ作品演奏法の考察

## 福富祥子

| チェロ |



SHOKO FUKUTOMI

楽器を弾くとき手や指がもう少し自由に動いてくれたら…。なぜ自分の体なのに自分の思い通りに動かないのだろう…という切実な思いが、私の博士研究の出発点でした。オランダ発の理学療法に基づく「ディスポキネシス」と呼ばれる演奏家のための身体法を紹介しながら、「どうしたら音楽と体と楽器はもっと自然につながるのか」という問いに対する私の試みとその成果を、ワークショップと演奏を通して皆さんにお伝えできたらと思います。

平成 20 年度 博士号取得  
博士論文題目／演奏行為における心身の調和：演奏家のための身体法「ディスポキネシス」の手法による弦楽器演奏への取り組み

## 花柳美輝風 (金子祐木)

| 日本舞踊 |



MIKIFUU HANAYAGI  
(Yu-ki Kaneko)

私は博士課程で、踊り手の装飾を抑え、身体表現を中心に構成した日本舞踊独自の表現や演出を確立しようと研究しました。今回のコンサートでも、踊り手の装飾はシンプルに抑え、身体表現をできる限り鮮明に捉えることができる構成を心がけました。日本歌曲の代表作「荒城の月」「早春賦」、そしてプーランクのピアノ作品とのコラボレーションを通して、能や歌舞伎とは異なる日本舞踊独自の空間を、お楽しみいただけたらと思います。

平成 22 年度 博士号取得  
博士論文題目／日本舞踊演出論

お問い合わせ | 音楽研究科リサーチセンター |  
mrc-info@ml.geidai.ac.jp  
050-5525-2372

| 交通案内 |

JR 上野駅・JR 鶯谷駅・東京メトロ千代田線根津駅より徒歩 10 分  
京成線上野駅・東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より徒歩 15 分  
駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。  
所在地／東京都台東区上野公園 12-8 110-8714

